

製品安全データシート(SDS)

2022年4月1日 製作

2023年2月1日 改訂

1. 製品及び会社情報

製品の名称 : 燃焼漏れ検知液
会社名 : JTC Auto Tools 株式会社
住所 : 〒745-0802 山口県周南市大字栗屋 332 番地 4
e-mail : info@jtcautotools.co.jp
FAX : 0834-36-0010

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分外

自然発火性液体 : 区分外

自己発熱性化学品 : 区分外

酸化性液体 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性（経口） : 区分外

急性毒性（経皮） : 区分外

皮膚腐食性・刺激性 : 区分外

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分外

注意喚起語 : 該当なし

シンボルマーク、絵表示 : 該当なし

危険有害性情報 : 該当なし

注意書き

【安全対策】 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。保護手袋、保護眼鏡、呼吸用保護具、保護面、保護衣を着用すること。ミスト、蒸気などの吸入を避けること。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。

【救急処置】 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。眼に入った場合、水で15分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。気分が悪い時、身体に異常がある時は、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】 直射日光を避け、容器を密閉して冷暗所に保管すること。

【廃棄】 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「分類対象外」又は「分類できない」である。

3.組成、成分情報

化学名 : 3', 3''-ジブロモチモールスルホンフタレイン溶液
分子量 : 624.38 g / mol
CAS No. : 76-59-5
EC No. : 200-971-2
危険有害成分 : 特になし

4.応急処置

吸入した場合 : 吸い込んだ場合は、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。呼吸していない場合は、人工呼吸をしてください。気分が悪い場合は、医師の診断を受ける。

皮膚に接触した場合 : 触れた部分を石鹼とたっぷりの水で洗い流してください。

目に入った場合 : 予防措置として、目を水で洗い流してください。もし異常があれば医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合 : 口の中を水ですすいでください。大量の水を飲ませ、指を喉に差し込んで吐かせる。意識不明の人に口から何も与えないでください。速やかに医師の診察を受ける。

5.火災時の措置

消火剤 : 本品は水溶液のため難燃性である。周辺火災の種類に応じた消火剤を用いる。散水、粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤を使用してください。

火災時の特有の有害危険性 : 火災中に刺激性又は毒性のガスを発生することがある。

消火を行う者の保護 : 消火を行う者は、陽圧自給式空気呼吸器、耐火手袋、耐火服等の保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 漏洩区域は、関係者以外の立入りを禁止する。漏洩エリア内に立入る時は、保護具を着用する。風上から作業し、ミスト、蒸気、ガスなどを吸入しない。密閉された場所に立入る時は、事前に換気する。

環境に対する注意事項 : 河川、下水道、土壤に排出されないように注意する。
海上で薬剤を使用する場合は、運輸省令の規定に適合すること。

回収、中和 : 漏洩物をウエス等で吸収し、密閉できる空容器に回収する。回収した漏洩物は、後で適正に廃棄処分する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

: 危険でなければ漏れを止める。

二次災害の防止策 : 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱いと保管

取扱い

技術的対策 : 特になし。

局所排気・全体換気 : 必要に応じて、局所排気又は全体換気を行なう。

安全取扱注意事項 : すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗う。

接触回避 : 湿気、水、高温体との接触を避ける。

保管 技術的対策 : 保管場所は、製品が汚染されないよう清潔にする。

保管条件 : 遮光した容器に入れ、直射日光や高温高湿を避ける。
開封後は、なるべく早く使い切る。使用後は、容器を密閉して冷暗所に保管する。
食料、飼料から離して保管する。

混触危険物質 : 水反応可燃性物質

容器包装材料 : ポリエチレン、ポリプロピレン等

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）:

日本産衛学会（2010年版） 設定されていない。

ACGIH（2010年版） 設定されていない。

設備対策 : この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。

保護具 呼吸器の保護具 : 呼吸器保護具（簡易保護マスクなど）を着用する。

手の保護具 : 保護手袋（ニトリル製、塩化ビニル製など）を着用する。

眼の保護具 : 保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）を着用する。

- 皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣を着用する。
必要に応じて保護面、保護長靴を着用する。
- 衛生対策 : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。取扱後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状態、形状、色など : バイオレットの液体
- 臭い : データなし
- pH : データなし
- 融点 : 約 200-202°C
- 沸点 : データなし
- 引火点 : データなし
- 爆発範囲 : データなし
- 蒸気圧 : データなし
- 蒸気密度 : データなし
- 比重（密度） : データなし
- 溶解度 : データなし
- 自然発火温度 : データなし
- 分解温度 : データなし
- 粘度 : データなし

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常取扱条件において安定である。
長期保管すると、空気中の炭酸ガスを吸収して、液の色が徐々に黄色に変化する。
- 危険有害反応可能性 : 強酸化剤と混触すると、反応することがある。
- 避けるべき条件 : 日光、熱、空気（炭酸ガス）
- 混触危険物質 : 強酸化剤
- 危険有害な分解生成物 : 特になし

11. 有害性情報

- 急性毒性 : データなし
- 皮膚腐食性・刺激性 : データなし
- 深刻な眼の損傷・刺激性 : データなし
- 呼吸器又は皮膚の感作性 : データなし
- 生殖細胞変異原性 : データなし
- 発がん性 : IARC、ACGIH、NTP、EPA に記載がないため、分類できない。
- 生殖毒性 : データなし
- 特定標的臓器・全身毒性
（単回ばく露） : データなし

特定標的臓器・全身毒性

- (反復ばく露) : データなし
吸引性呼吸器有害性 : データなし

12. 環境影響情報

- 生態毒性 : データなし
残留性／分解性 : データなし
生物蓄積性 : データなし
土壌中の移動度 : データなし

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付して廃棄物処理を委託する。廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。
(参考) 希釈法
少量であれば、多量の水で希釈して排水処分する。
- 汚染容器及び包装 : 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国内規制（適用法令）

- 陸上規制 : 特段の規制なし（非危険物）
海上規制 : 特段の規制なし（非危険物）
航空規制 : 特段の規制なし（非危険物）
国連番号 : 非該当
国連分類 : 非該当
品名 : 非該当
海洋汚染物質 : 非該当
特別の安全対策 : 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。食品や飼料と一緒に輸送してはならない。重量物を上積みしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 非該当
毒物及び劇物取締法 : 非該当
消防法 : 非該当
化学物質管理促進法(PRTR 法) : 非該当
船舶安全法 : 非該当 航空法 : 非該当
輸出貿易管理令 : 別表第 1 の 1 6 項 (キャッチオール規制)
HS コード
(輸出統計品目番号、2014 年 4 月版) : 3822.00-000
第 38 類 (各種の化学工業生産品)
「診断用又は理化学用の調製試薬」

16. その他の情報

(注) 本品を試験研究用以外には使用しないで下さい。

参照 :

化学物質管理促進法 PRTR・MSDS 対象物質全データ	化学工業日報社
労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ	化学工業日報社(2007)
化学物質の危険・有害便覧	中央労働災害防止協会編
化学大辞典	共同出版
安衛法化学物質	化学工業日報社
化学物質安全性データブック	オーム社